

まいいぶん 愛知

no.67

特集：今年度の 遺跡調査速報

- その1 -



▲巡間 E 窯跡 1号窯 (SY01)

巡間 E 窯跡 2号窯 (SY02)▶



巡間 E 窯跡は、瀬戸市巡間町の標高 190 ～ 200m の丘陵上に位置します。今回の調査により窯跡 2 基や作業場として使用された整地面、灰原などが確認されました。操業時期は 14 世紀中頃 (古瀬戸中期 IV ～後期・山茶碗 9 型式ごろ) と考えられます。

(2 頁に関連記事)

発掘調査速報

はざま
巡間 E 窯跡

(瀬戸市巡間町)

巡間 E 窯跡は、瀬戸市巡間町、標高 190 ～ 200m の丘陵上に位置します。今回の調査により見つかった遺構は、窯跡 2 基・作業施設 1 基・ロクロピット 1 基・作業場として使用された整地面・灰原で、操業時期は 14 世紀中頃 (古瀬戸中期 IV ～後期・山茶碗 9 型式ごろ) と考えられます。

窯跡には、山茶碗といわれる無釉陶器を主に生産していたもの (SY01) と、古瀬戸といわれる施釉陶器を主に生産していたもの (SY02) とがあります。2 基の窯はほぼ同時に操業していたものの、SY01 の操業終了後前庭部付近が整地され、最終的には SY02 のみが操業されていたようです。窯の壁および床面には補修された痕跡が見られ、最低でも SY01 で 2 回、SY02 で 3 回の補修の痕が観察できました。

SY02 のさらに北側で、作業施設が検出されました。地山を削り貫いた長方形を呈するこの遺構は、床直上には数センチの厚さで炭が堆積し周囲には溝が巡るものです。また、SY01 操業後の整地面では、それを掘り込む形で、ピット埋土内に軸の痕跡の見られるロクロピットが 1 基検出されました。

窯の下方の傾斜する斜面および谷底には、焼き物の失敗品を大量に廃棄して堆積した部分 (灰原) が広がっています。陶器の失敗品の他、灰・窯壁・焼台・匣鉢など、窯内から掻き出されたものも混在しています。短期間かつ多量の投棄により、最深で 3.5m ほどの堆積が観察できました。

今回は独立した丘陵全体を調査したため、窯本体・作業施設および作業場・灰原と呼ばれる廃棄場所を総合して調査できたことが、大きな成果です。今後は窯周辺で行われた窯業生産の復元をめざして、遺物の検討や自然科学的分析の結果を総合していきたいと考えています。

巡間 E 窯跡全景



出土遺物

発掘調査速報

ごんげんやま
権現山遺跡

(岩倉市北島町・野寄町)



古墳時代初頭の墳丘墓



縄文時代後期の土器片敷遺構

権現山遺跡は、岩倉市南西部の北島町と野寄町に所在する縄文時代から近世にかけての遺跡で、五条川右岸の標高 6 m 前後の自然堤防上に立地しています。発掘調査は五条川右岸流域下水道工事に先立つ事前調査で、今年度は 2,340 m²を調査しました。

今年度の調査では、縄文時代後期、古墳時代初頭、古墳時代後期などの遺構・遺物が確認されています。縄文時代後期の遺構としては、竪穴住居 3 棟が検出されました。これらは平成 9 年度の調査でも確認された縄文時代後期集落の一部に相当します。そのうちの SB02 では、下呂石の剥片が集中する土坑、破碎した土器片を敷いた土坑がみられました。古墳時代初頭の遺構には、方形の墳丘墓 4 基と竪穴住居 1 棟があります。墳丘墓の規模などから、遺跡はある特定の階層の墓域として利用された可能性も考えられます。

(調査研究員 早野浩二)

発掘調査速報

やなみしもほんじょう
矢並下本城跡

(豊田市矢並町)



北堀切



主郭東斜面溝

調査は、東海環状自動車道建設に伴うもので、約 4,500 m²を調査しました。

城跡は、矢並町集落の南西に位置する南北に細長い山地頂部に存在する山城跡で標高約 190m に立地しています。城の規模は南北約 130 m、東西約 40m を測ります。

調査の結果、この城は大規模な改修を受けており少なくとも 2 時期に分けることができます。

前期の遺構としては主郭上を北から南にめぐる柵列や東斜面を南北に走る溝などが見つかりました。溝は幅約 120cm 深さ約 30 ～ 80cm で中央部が土橋状に切れており、その内側で柵列が食違っていることから虎口として使用されたものと思われます。

後期には主郭の平坦面を広げ全体の規模も大きくなったようです。主郭の南北にある堀切が拡張され、その内側に下幅が 3m を超える土塁が確認されました。また主郭内部には掘立柱建物が数棟見つかっています。この時期の虎口は北側堀切にある土橋が使用されていたと思われます。

その他の遺構として主郭西側中央部に版築を施して作った 5 × 5 m ほどの土壇、主郭西斜面に柵列を構成すると考えられる幅約 30cm の南北に平行して走る溝、主郭北側尾根の東西斜面に縦堀や地山を掘り残して作った土塁などが見つかっています。

遺物は、播鉢や天目茶碗、土師質の内耳鍋や皿、城との関係は不明ながら瓦やナタなどが出土しています。

(調査研究員 成瀬友弘)

発掘調査速報

う なかぼら
宇トゲ窯跡・中洞窯跡

(瀬戸市上品野町)

中洞窯跡は愛知県瀬戸市上品野町の丘陵地にあります。東海環状自動車道建設にともない、日本道路公団からの委託にもとづいて本年度 7 月から 10 月にかけて調査が行われました。今回いっしょに発掘した宇トゲ窯跡は、中洞窯跡の北側尾根をはさんだ反対斜面にあります。今回の調査で次のようなことがわかりました。

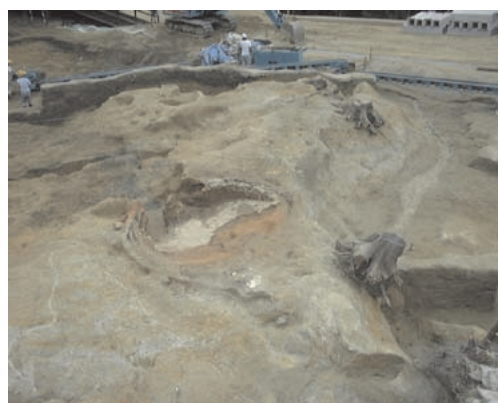
中洞の窯は 1 基で、窯の向きは、現在の谷地形方向とは少しずれた北西—南東方向に作られていました。この窯の上半部にあたる場所はすでになく、発見された窯から谷方向にずれた位置で、3m ほど下の地層から見つかりました。地震や大雨などにもなう地滑りによって窯が大きく破壊されたと考えられます。

今回発見された部分は、窯の下半分で燃烧室から焼成室にかけての全体の約 2 分の 1 ほどです。残存部での全長は約 5 m、最大幅は焼成室で約 2.5m、最深部は風化花崗岩を掘り残して作ったあたりで約 80cm でした。窯の補修は壁で 4 回・床で 2 回は行われたようです。

宇トゲでは、窯から出てくる不要物を利用して、斜面を平らに整地したと考えられる場所が見つかりました。

出土した遺物の特徴から、中洞窯跡の窯が使われていた時代は古瀬戸中期Ⅱ段階から古瀬戸中期Ⅳ段階（14 世紀前半から中頃）までと考えられます。また、宇トゲ窯跡は古瀬戸後期（14 世紀後半）と考えられます。

(調査研究員 藤岡幹根)



中洞窯跡・窯体



NO.9

墨書

「文室門」は何や?

上品野蟹川遺跡（瀬戸市上品野町）で「文室門」とある墨書陶器が2点出土しました。9世紀初めの灰釉陶器碗（K-14号窯式）の高台内側に、縦方向に3文字が配置されており「門」の下には少し空白があります。筆遣いは鋭くしっかりした楷書で書かれており、しかも2点の筆跡は一致する可能性があります。

文字は「ふんやのもん」と読むことができますが、語句の意味はまだ判りません。「文室」は人名、あるいは地名に用いられる場合があります、「室」を「屋」にかえた「文屋（ふんや）」は人名の他に読み書き学問する場所を意味します。遺跡周辺で関連する人物、地名、施設などは今のところ見当たらないのです。

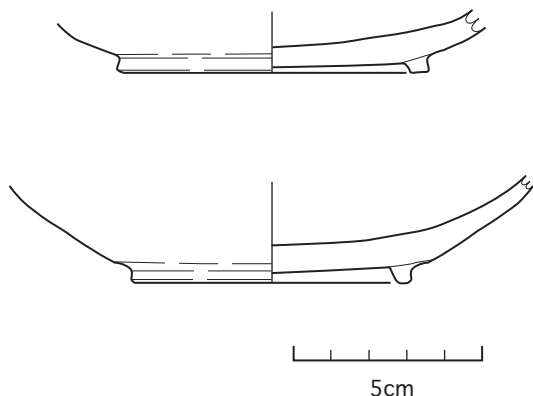
遺跡の広い範囲が古い時代の蟹川の流路となっており、資料は古代の流路部分の下層で検出されました。摩滅もなく流されてきた様子はありません。これまでに同時期の竪穴住居1棟が隣接する川縁で確認されているだけで、生活の痕跡も希薄で寂しい場所です。墨書がなぜここに捨てられたのでしょうか？

少なくとも、文字に接する機会が限定されていた平安時代の初め、開発がはじまって

まもない品野盆地の奥に自在に筆を操る「知識人」が来ていたのは確かです。墨書が集落から離れた

川の傍に捨てられたこと、その他に鉄鍬や陽物形木製品など特異な遺物が出土していること、そして当時の墨書土器の多くにマジナイに関連する吉祥句が多く用いられたことを考えると、この近くが何らかの祭祀の場であり、資料には祭祀の内容を示す秘密が隠されているのかもしれません。

（調査研究員 武部真木）



5cm

写真の土器は上のものです。

お詫びと訂正



前号で紹介しました「整理速報志賀公園遺跡」の糸切り痕をもつ須恵器について、下記の通り訂正いたします。

写真1の古墳時代に流行した杯（杯H）にみられる調整痕は、糸切り痕ではなく、当て具の痕跡ではないかご指摘を受けました。検討したところ、同心円の痕跡に重複している箇所がみられる、



同心円は木目の可能性があることから、「木製無文当て具痕」と再認識しました。ご指摘いただいた方々に感謝するとともに、訂正とお詫び申し上げます。

（調査研究員 永井宏幸）

www.maibun.com

昨年10月3日に当センターのトップページのデザインが一新されました！容量も少し小さくなり、アクセスしやすくなりました。開設から2年数ヶ月、アクセス数も2万件をこえました！

今年も情報の更新、新しいコンテンツと頑張ってゆきたいと思います。

（堀木）



まいぶん愛知 no.67

発行 平成14年1月15日

編集（財）愛知県教育サービスセンター

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017

愛知県海部郡弥富町前ヶ須新田字野方 802-24

TEL.0567-67-4163 FAX.0567-67-3054

<http://www.maibun.com> Email:doki@maibun.com

印刷（株）クイックス